

# 大雨が降ったときの 身を守る行動(避難)を知る

\_\_\_\_年 \_\_\_\_組 \_\_\_\_番 名前(\_\_\_\_\_)

問1. 次の状況を想像してください。それぞれの状況では、  
あなたは避難所に避難しますか？ 避難しませんか？

状況	どちらかに○をつける		理由
	避難する	避難しない	
A: 「(自分の家の) 近くの山で土砂 災害が起きた」と いうニュースを見た			
B: 役所から「避難指 示」が発令され、 避難所が開いた			
C: 家の1階の床まで 水がきた			

問2. 今日の授業で、思ったこと・感じたことを書きましょう。

.....

.....

.....

.....

.....

.....



## 今日の宿題

### さいがい 災害ではいろいろなことが起こる

- ▶ 問1の状況のほか、もっといろいろな状況も考えられます。次の状況では、あなたは避難所に避難しますか？避難しませんか？

じょうきょう 状況	どちらかに○をつける		理由
	ひなん 避難する	ひなん 避難しない	
台風が近づいてきて、 D: 明日の学校が 休みになった。			
近所の家の人が、 E: 避難所へ避難して いるのを見た。			
けいたい 携帯電話に F: 緊急速報メールが きんきゅう そくほう 届いた。			

# 大雨が降ったときの 身を守る行動(避難)を知る

## 授業者用

## 考え方のポイント

問1. 次の状況を想像してください。それぞれの状況では、あなたは避難所に避難しますか？ 避難しませんか？

### 指導の際の留意点

- ※ 設問で提示している「状況」は、詳細までは設定していないので、授業者の裁量で決めたり、子供たちからのアイデアを採用したりして設定を調整しても構いません。
- 出題例) 状況C：1階の床まで水がきている。だけど、勢いよく流れてきているわけではなく、じわじわゆっくり上がってきた。危ないと思うけど、流れはなさそうなので、装備をきちんとして、大人と一緒に少しは外を歩けるかもしれない。

状況	どちらかに○をつける		理由
	避難する	避難しない	
A: 「(自分の家の) 近くの山で土砂災害が起きた」というニュースを見た	<ul style="list-style-type: none"> <li>自宅に「直接」被害が出るほどの近くではないが、自宅近くに危険が迫っていると認識できているかどうかを評価。土砂災害を論点としているが、「土砂災害⇒大雨⇒川の近くも危ない」と、洪水災害に関して話を広げるのも◎。</li> <li>自宅が山に隣接しているかどうかを問いかける等、自分に迫る危機の大きさを認識できるように適宜支援。子供それぞれの自宅の状況が異なるので、一人ひとり判断が異なることにも言及することも必要。</li> </ul>		
B: 役所から「避難指示」が発令され、避難所が開いた	<ul style="list-style-type: none"> <li>避難指示は、詳細な地区単位で出ることあれば、自治体全域に出ることもある。自宅が危ない場所にあるのか(危なくなる可能性が本当にあるのか)を判断したうえで、役所からの情報を役立てて、行動を決定できているかを評価。</li> <li>「役所が避難指示を出すほどの状況」と理解したうえでの判断か、「役所が逃げろと言ったから逃げる」といった思考停止で行動を決定していないか、注意が必要。</li> </ul>		
C: 家の1階の床まで水がきた	<ul style="list-style-type: none"> <li>「家の1階の床まで水がきた」という状況から、自宅周辺も浸水・冠水している状況と想像できるか。そして、その状況下で、自宅にとどまる(2階に上がる)か、自宅外に出るか、どちらが安全かを見極められるかを評価。</li> <li>集合住宅の高層階に住んでいる、もしくは、山などの高台に住んでいる場合には、居住スペースの1階まで浸水は、ありえない災害になってしまうかもしれないので、その場合には、「自宅ではなく川の近くの住宅の1階まで浸水」など、適宜調整をしてください。</li> </ul>		



## 今日の宿題

### 災害ではいろいろなことが起こる

- ▶ 問1の状況のほか、もっといろいろな状況も考えられます。次の状況では、あなたは避難所に避難しますか？避難しませんか？

### 指導の際の留意点

※ 設問で提示している「状況」は、詳細までは設定していないので、授業者の裁量で決めたり、子供たちからのアイデアを採用したりして設定を調整しても構いません。

例) 状況C：1階の床まで水がきている。だけど、勢いよく流れてきているわけではなく、じわじわゆっくり上がってきた。危ないと思うけど、流れはなさそうなので、装備をきちんとして、大人と一緒に少しは外を歩けるかもしれない。

状況	どちらかに○をつける		理由
	避難する	避難しない	
台風が近づいてきて、 D: 明日の学校が休みになった。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 学校が休みになるほどの事態(台風)と想像して、雨風の影響を受けて、どの程度が自宅に危険が迫っていると認識できているかを評価。</li> </ul>		
近所の家の人が、 E: 避難所へ避難しているのを見た。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 他人の行動につられてしまうことがあるが、その行動が本当に安全を確保できる行動か見極めることができているかを評価。</li> <li>※つい他人の行動と同じ行動をとってしまう心理傾向:「集団同調性バイアス」</li> </ul>		
けいたい 携帯電話に F: 緊急速報メールが届いた。	<ul style="list-style-type: none"> <li>• 授業者のアレンジの自由度がかなり高いものとして設けています。</li> <li>• アレンジ例) 携帯電話：スマートフォンアプリの通知など、子供たちが想像が付きそうなツール 通知の内容：大雨や台風の予報（これからの情報：○日後、台風接近 など）、 大雨の状況（いまの情報：観測史上1位を記録、線状降水帯の発生 など）</li> <li>• 内容を踏まえて、迫っている危険を認識できているかを評価。</li> </ul>		